

## ▼ 会社の概要 (平成29年9月30日現在)

商号 株式会社ソフト99コーポレーション  
設立 昭和29年10月28日  
本社 大阪市中央区谷町二丁目6番5号  
資本金 2,310,056,000円  
従業員数 205名  
事業内容 自動車用化学製品の製造及び販売

## ▼ 役員 (平成29年9月30日現在)

代表取締役社長	田中秀明
常務取締役	西川保
常務取締役	辻平幸
取締役	奥石春佳
取締役	小西紀行
取締役(社外)※	中務英慶
取締役(社外)	井原慶
常勤監査役	古居祐博
監査役(社外)※	平井康
監査役(社外)※	竹村聡明
監査役(社外)※	樋口秀

※上記4名の役員は、株式会社東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

## 株主様向け三田工場見学会のご案内

株主様向けの工場見学会を下記の通り実施いたします。

### □日時(各回10名様)

平成30年3～5月の各月1回  
(所要時間約2時間)

### □見学場所

三田工場(兵庫県三田市テクノパーク14-1)  
\*工場までの交通費は各自のご負担とさせていただきます。  
\*写真撮影はご遠慮ください。

### □対象者

当社株式100株以上をご所有の株主様  
\*同伴者は小学生以上の方1名までとさせていただきます。

### □応募・お問合せ先

人事総務部  
TEL 06-6942-8761



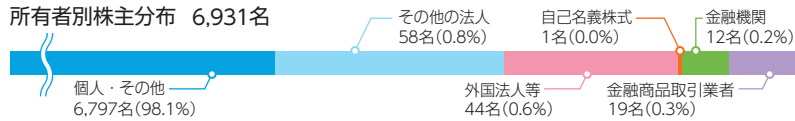
## ▼ 株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数(自己名義を含む)
60,000,000株	22,274,688株	6,931名

## ▼ 大株主 (平成29年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
サントレード株式会社	3,246,528株	14.9%
MIKIKO SUZUKI	1,492,656	6.8
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,425,700	6.5
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	850,086	3.9
株式会社エイチイーエス	835,000	3.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	825,400	3.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	799,200	3.7
田中 秀明	661,976	3.0
公益財団法人ナインティナイン・アジア留学生奨学基金	603,720	2.8
田中 佐世子	594,192	2.7

※持株比率は、自己株式数(494,392株)を控除して計算しております。



## ▼ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当金 受領株主確定日	3月31日	中間配当金 受領株主確定日 9月30日
定時株主総会	毎年6月	単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
Tel. 0120-094-777 (通話料無料)

電子公告  
ホームページ: <http://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html>  
電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。  
※当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所市場第二部

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



# COMPANY REPORT 2017

## 第64期 中間報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日

ソフト99コーポレーション

## 『生活文化創造企業』の 経営理念のもと、 更なる成長を目指します。

代表取締役社長 田中 秀明



### — 当第2四半期連結累計期間業績についてのご報告

平素より当社グループの事業活動に格別のご理解、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、国内では景気回復が長期間にわたり個人消費も緩やかに改善する中、新車販売は好調に推移いたしました。小売店においては、消費者の嗜好が「コト消費」に移り変わっていることをふまえ、モノの販売からサービスの強化へと転換が起こっており、当社グループにとっても既存のビジネスに捉われず、柔軟な考えで事業に取り組むことが求めら

れていると認識しております。

このような中で、当社グループは、当期、第5次中期経営計画「SHIFT DOWN!!」の初年度として、営業・開発両面で様々な取り組みを進めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高・利益ともに好調に推移いたしました。

### — 当第2四半期連結累計期間における主な取り組みについてのご報告

ファインケミカル事業では、カーライフ全体の美装を提案することを目指し快適な車内空間を実現することを

コンセプトにした新製品の発売や、一般消費者向け製品や業務用製品という区分にこだわらず、車をキレイにしたいというニーズに沿った提案活動を行い、変わりゆく市場に柔軟に対応できる体制ができつつあります。

海外市場においては、新規開拓やEU圏での更なる拡大、現地代理店の店頭活動支援など、新たな取り組みにおいて成果がありました。

開発面では、自動車の安心・安全・快適を実現する製品の開発に日々努めるとともに、自動車市場の数年後の姿を想定し、その変化によって生まれる新たな悩みを解決する製品・サービスの提供を目指すべく、問題を見つけ出す視点を養う中長期的な取り組みを進めております。

ポーラスマテリアル事業では、半導体向け用途など主力のハイテク産業に向けた販売が好調に推移するとともに、医療分野での吸液用途の横展開やプリンター内部のインク拭き取り材の導入が拡大いたしました。生活資材においては国内外ともにPVAの吸水力を活用した製品の用途拡大を目指しております。

### — 通期の見通しについて

国内の環境は、米国や東アジアの情勢不安の波及が心配されるなど不透明な状況となっておりますが、ロシアやアジアなどの主要仕向け国においては原油価格の持ち直しなどにより経済は回復基調で推移しております。このような中、当社グループは引き続き業容拡大に向けた取り組みを進めてまいります。通期の連結業績予想につきましては、期首に公表いたしました数値から上方修正となる、連結売上高22,950百万円、連結営業利益2,700百万円、連結経常利益2,850百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,900百万円に変更いたします。

### — 株主の皆さまへ

今後とも当社グループは「生活文化創造企業」の経営理念のもと、日々暮らしの中で役立つ新たな生活様式の創出を目指し、事業活動に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### New Products

布シートの汚れを防ぐ、繊維用強力コート剤

#### ルームピア クロスバリア



車のシートなど繊維用の強力コート剤です。布にスプレーしスポンジで塗り広げることで、特殊フッ素ポリマーが繊維に浸透・吸着。コーヒーなどの水性汚れからマヨネーズなどの油污れまでコーティング効果で汚れにくくし、シミやニオイの元を徹底ガード、布シートのキレイを継続させます。

特殊フッ素  
ポリマーで、  
徹底ガード

車内に幅広く使用できる  
スプレータイプのクリーナー

#### ルームピア ウォッシュミスト



車内の汚れに幅広く使用できるスプレータイプのインテリアクリーナーです。スプレーして拭き取るだけの簡単仕様で、ハンドルやダッシュボードなど車内の様々な箇所について手アカ・タバコのヤニ汚れなどをスッキリ落とします。除菌・消臭効果も発揮。

### Topics

#### TVCM新バージョン放映スタート! 「ガラ子3姉妹」篇



ガラス撥水剤「ガラコ」シリーズの認知度の向上を目指し、新たなTVCMの放映を開始いたしました。雨の日の交通事故は晴れの日と比較して約4倍増加するといわれています。チャイルドシートに座った「ガラ子3姉妹」が登場させ、大切な人を守るために、雨をはじいて視界をクリアに保つガラコで安全運転を心掛けてほしいという思いを込めたCMとなっております。

今後とも当社は、自動車の美装のみならず安全をキープする製品づくりに取り組んでまいります。

■ソフト99コーポレーション 映像ライブラリーよりご覧いただけます。  
<http://www.soft99.co.jp/corporate/movie/>

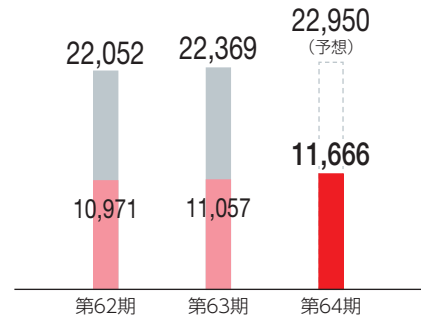
# 連結財務ハイライト

## 売上高

11,666 百万円

前年同期比 5.5% 増

2Q(累計) 1Y (百万円)

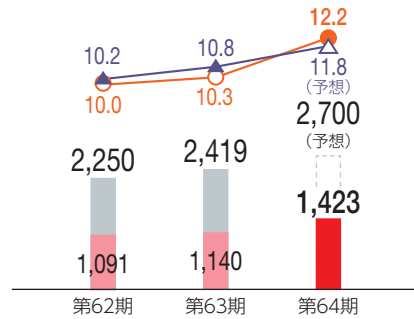


## 営業利益・売上高営業利益率

1,423 百万円

前年同期比 24.8% 増

2Q(累計) 1Y (百万円)

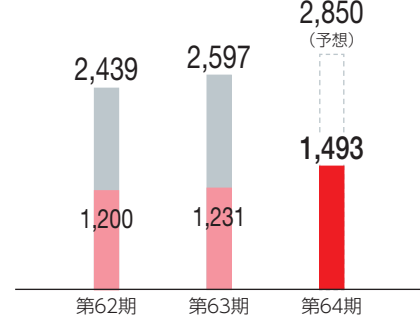


## 経常利益

1,493 百万円

前年同期比 21.2% 増

2Q(累計) 1Y (百万円)

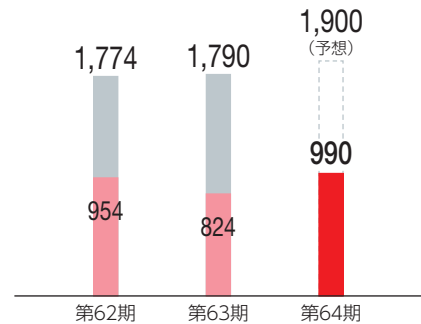


## 親会社株主に帰属する四半期純利益

990 百万円

前年同期比 20.1% 増

2Q(累計) 1Y (百万円)



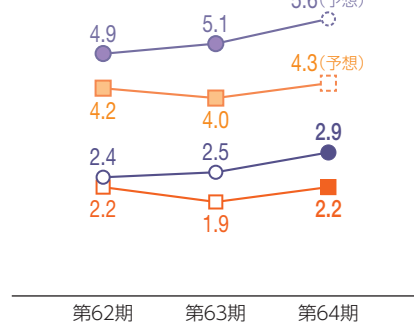
## ROE・ROA

ROE 2.2%

ROA 2.9%

前年同期比 0.3pt 増 0.4pt 増

2Q(累計) 1Y (%)

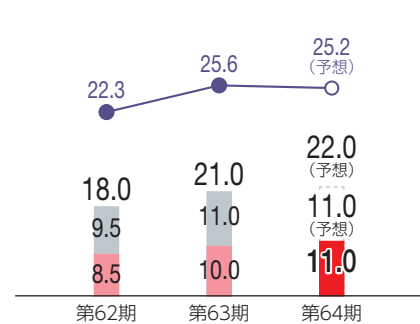


## 1株当たり中間配当金・配当性向

11.0 円

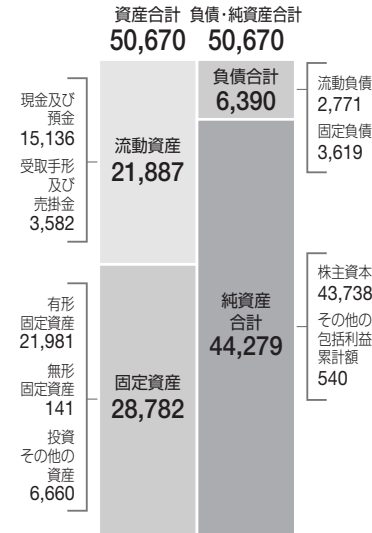
前年同期比 1.0 円 増

中間配当金(円) 期末配当金(円)

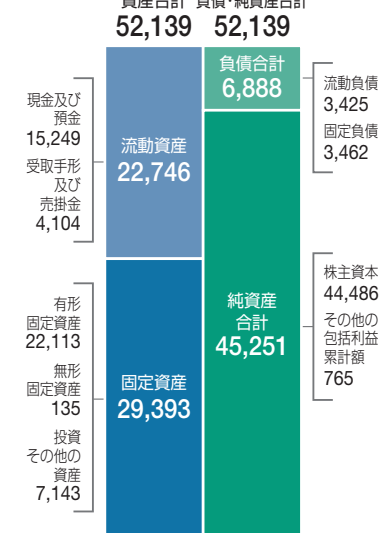


## 四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)

### 前期末 (平成29年3月31日現在)



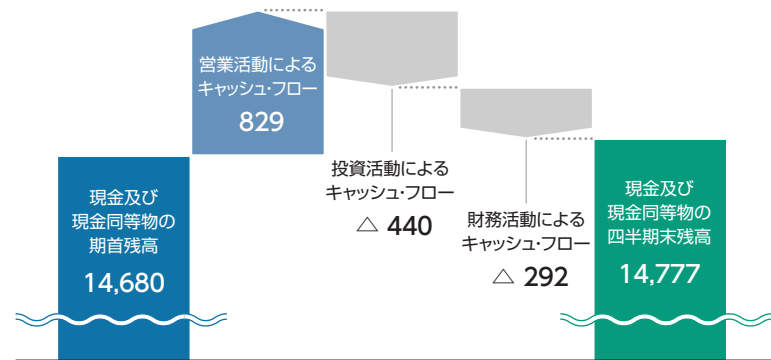
### 当第2四半期末 (平成29年9月30日現在)



(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)

### 当第2四半期累計 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)



(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# Point 解説

## 連結財務ハイライト

### 売上高

ファインケミカルの業務用製品販売及び海外向け販売、ポラスマテリアルの産業用途向け販売の伸長で増収。

### 営業利益

- ・ファインケミカル 利益率の高い業務用製品販売の伸長や海外向け販売の粗利改善で増益。
- ・ポラスマテリアル 販売好調により工場の稼働が上昇し原価を圧縮したことで増益。

### 親会社株主に帰属する四半期純利益

売上増加と利益改善に加え、前年同期に発生した厚生年金基金解散に伴う特別損失がなくなったことにより増益。

## 四半期連結貸借対照表

### 資産合計

好調な営業活動により受取手形及び売掛金が増加したことや、たな卸資産の増加により流動資産が858百万円増加。市場の株高傾向や、新たな取得により投資有価証券が増加したことで固定資産が610百万円の増加。

### 負債合計

未払法人税等や未払金及び未払費用が増加したことで流動負債が654百万円の増加。長期借入金などの長期負債が短期負債に振り替わったことで固定負債は156百万円の減少。

### 純資産合計

親会社株主に帰属する四半期純利益990百万円と配当金の支払い240百万円により利益剰余金が750百万円の増加。

## 四半期連結キャッシュ・フロー

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益	1,498百万円
減価償却費	333百万円
売上債権の増減額 (▲は増加)	▲523百万円
たな卸資産の増減額 (▲は増加)	▲390百万円
法人税等の支払額	▲258百万円

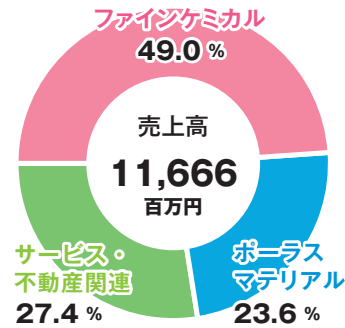
### 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	▲417百万円
投資有価証券の取得による支出	▲801百万円
投資有価証券の売却及び償還による収入	805百万円

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の取得による支出	▲33百万円
自己株式の処分による収入	30百万円
配当金の支払額	▲239百万円





第5次中期経営計画

「SHIFT DOWN!!」

2017(平成29)年4月～2020(平成32)年3月

**自動車分野**  
 ビジョン  
 自動車産業のグローバル化・自動車ハイテク化時代の到来に向けて、新たな人とクルマの繋がりをつくる。

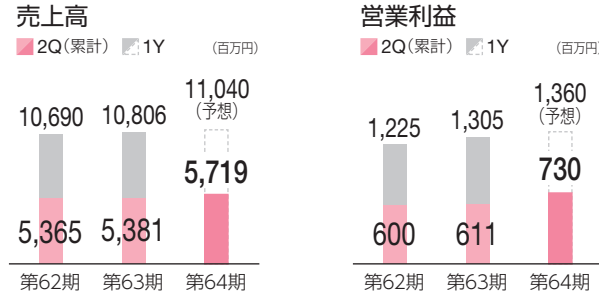
**産業分野**  
 ビジョン  
 表面改質と機能性精密多孔質体の技術を、幅広い産業分野における問題解決に活用する。

**生活分野**  
 ビジョン  
 日々の暮らしの中で起こる小さな悩み・ストレスを解消し、より快適な生活環境をつくる。

基本方針  
 新たな柱となる市場の開拓  
 ニッチ市場での存在感確立

ファインケミカル

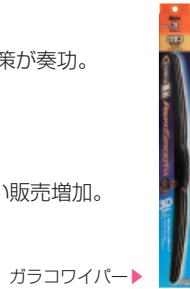
Fine Chemical



売上高 5,719 百万円 >>> 前年同期比 6.3% 増  
 営業利益 730 百万円 >>> 前年同期比 19.4% 増

一般消費者向け製品販売

- ・ガラスお手入れ製品は、小売店と協働で取り組んだワイパーの販売強化策が奏功。
- ・自動車用補修製品は、補修ケミカルの販売が増加。



業務用製品販売

- ・当社ブランドコーティング剤は、得意先の中古車販売店の店舗拡大に伴い販売増加。

海外向け販売

- ・中国は、日本からの輸出及び現地法人からの出荷がともに増加。
- ・東アジアは、韓国向けガラスケア製品の販売が増加。台湾では売場提案型の営業活動が奏功。
- ・東南アジアは、ベトナムやシンガポールへの出荷が増加。
- ・ロシアは、エリア別のニーズを捉えた製品提案で高付加価値コーティング剤やメンテナンス剤の出荷が増加。
- ・その他、欧州やインド向けの出荷が増加。



TPMS(タイヤ空気圧監視装置)企画・開発・販売

- ・運輸運送会社の新規購入車両に対する導入が進む。

業務用製品販売(自動車以外)

- ・表面改質剤「フレイムボンド」の導入は印刷業界を中心に好調に推移。

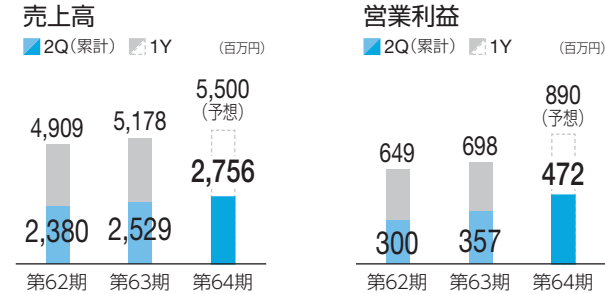
家庭用製品販売

- ・メガネケア製品は小売店の花粉対策として売場拡大。



ポーラスマテリアル

Porous Materials



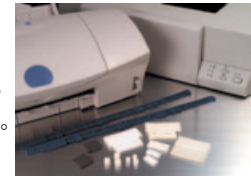
売上高 2,756 百万円 >>> 前年同期比 9.0% 増  
 営業利益 472 百万円 >>> 前年同期比 32.4% 増

生活資材(自動車用)

- ・米国を中心に海外向け販売が増加。

産業資材

- ・国内向けは、半導体洗浄用部材が大手メーカーの複数工場で使用量が増加し好調に推移。プリンター向け吸液部材が伸長。
- ・海外向けは、半導体洗浄用部材が米国・韓国のメーカーを中心に販売増加。



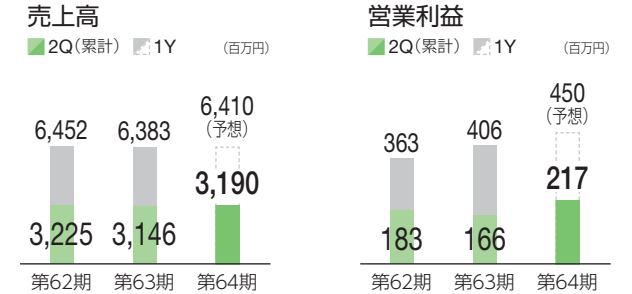
生活資材(家庭用・スポーツ用)

- ・国内向けは、小売店においてPVAの吸水性を生かした家庭用製品の導入が増加。
- ・海外向けは、米国へ船舶用やペット用として吸水セームの出荷が進んだ。



サービス・不動産関連

Service / Real Estate



売上高 3,190 百万円 >>> 前年同期比 1.4% 増  
 営業利益 217 百万円 >>> 前年同期比 30.7% 増

自動車整備・钣金事業

- ・コーティングやプロテクションフィルム施工などの新事業が好調。さらに工場間で平準化をはかり稼働が改善。



自動車教習事業

- ・普通車及び準中型免許教習の入所者増加や、地域の交通局に継続した研修を実施したことで好調に推移。



生活用品企画販売事業

- ・生協向けに幅広い商品提案を行い、企画採用数を維持。

不動産関連

- ・不動産賃貸事業は保有する賃貸物件において稼働が上昇。
- ・温浴事業は一部店舗での設備故障の影響により来店客数が減少。
- ・介護予防支援事業は利用者数及び客単価が増加。